

早稲田大学レジリエンス研究所 (WRRRI)  
科研バックエンド問題研究会  
「可逆性アプローチによる高レベル放射性廃棄物 (HLW) 管理政策と世代間公平性」  
第 16 回科研バックエンド問題研究会 (科研 TF を改称)  
開催案内

日時：2019年9月9日 (月) 16:00 - 18:30

会場：早稲田大学早稲田キャンパス 19 号館 713 会議室

出席者 (敬称略)：

研究会メンバー

松岡俊二	早稲田大学国際学術院 (アジア太平洋研究科)・教授
勝田正文	早稲田大学理工学術院 (環境・エネルギー研究科)・教授
松本礼史	日本大学生物資源科学部・教授
黒川哲志	早稲田大学社会科学総合学術院 (社会科学研究科)・教授
竹内真司	日本大学文理学部・教授
井上 弦	長崎総合科学大学総合情報学部・准教授

事務局

CHOI Yunhee	早稲田大学アジア太平洋研究科・博士後期課程
山田美香	早稲田大学アジア太平洋研究科・博士後期課程

オブザーバー

李 洸昊	早稲田大学大学院 環境エネルギー研究科・助教
------	------------------------

議題：

- (1) MRI の結果と今後の計画
- (2) Seeps 企画セッション報告 1：山田美香  
「社会的受容性からみた地層処分政策の選択要因：技術的安全性だけでは社会的合意は難しい」
- (3) Seeps 企画セッション報告 2：CHOI Yunhee  
「HLW 管理政策と CNDP の国民的討論：熟議民主主義はなぜ社会的合意に「失敗」したのか」
- (4) Seeps 企画セッション報告 3：松本礼史・竹内真司  
「なぜ地層処分の社会的合意は難しいのか：社会的受容性、可逆性、世代間公平性をめぐって」

その他 (今後の予定など)

今後の予定

2019 年	
9 月 28 日 (土) - 29 日 (日)	環境経済・政策学会 2019 年大会 (福島大学)
10 月	第 16 回科研バックエンド問題研究会
11 月・12 月	第 14 回ワークショップ (WS)